

2011 ねん がんばること

だれでもキリストにあるならば、そのひとはあたらしく
つくられたものである。 2コリント 5・17

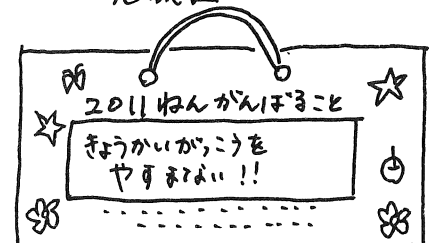
B

—— 切り取り線

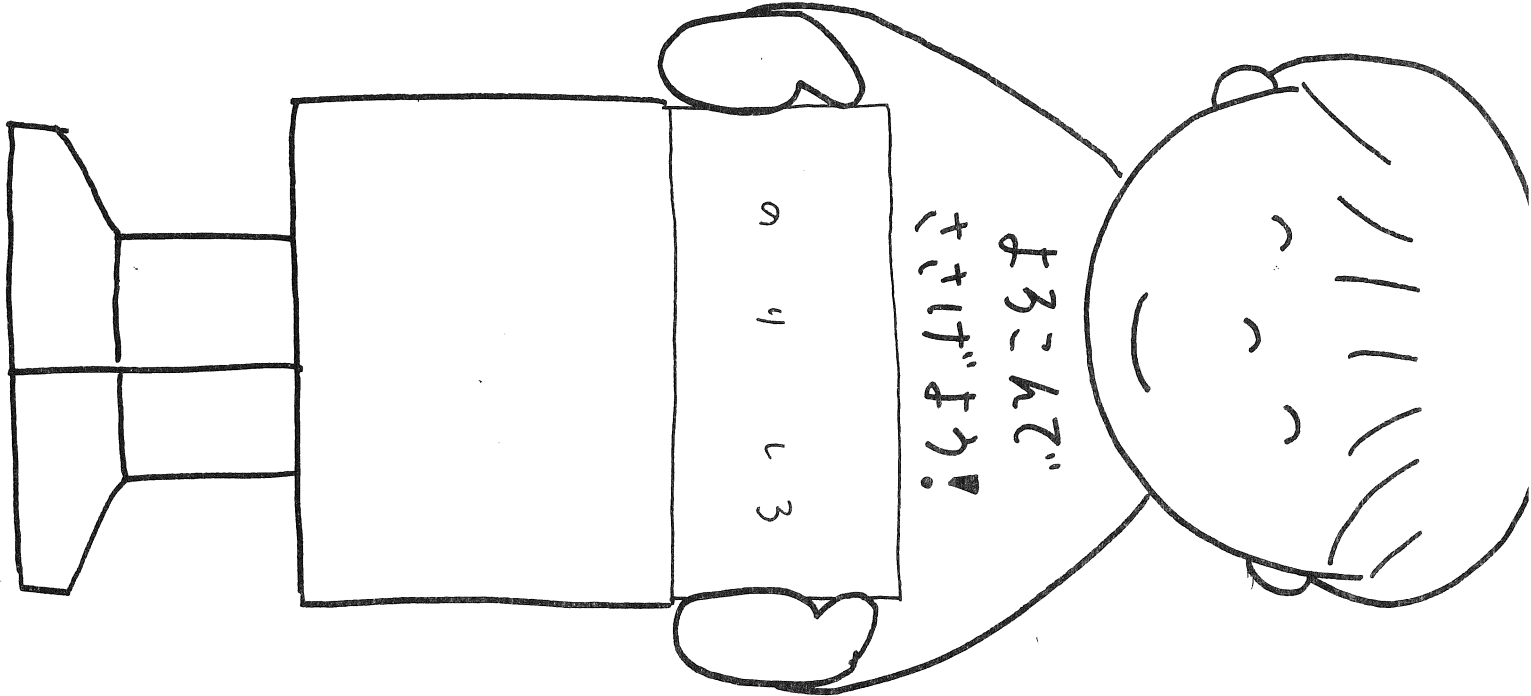
- ① A・Bを切り取る。
- ② Bに2011年の目標を書き、Aに^は貼り付ける。(字が書けないあなたたちのものは、先生が書いてあげてください。)
- ③ Aに^か絵を描いたり、シールを^は見貼ったりして飾る。
- ④ Aにハンチで穴をあけ、ひもを通す。

※ 色画用紙でつくと素敵になります。

—— 完成図 ——



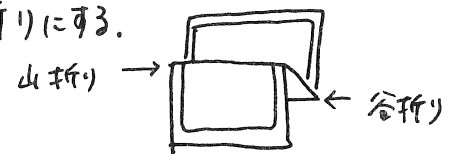
A




B


① A・Bに色をぬり切り取る。

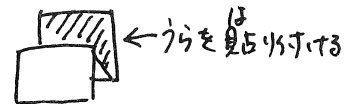
② Bを線に沿って3つ折りにする。



③ Aののりしろ部分に。

3つ折りしたBの  部の

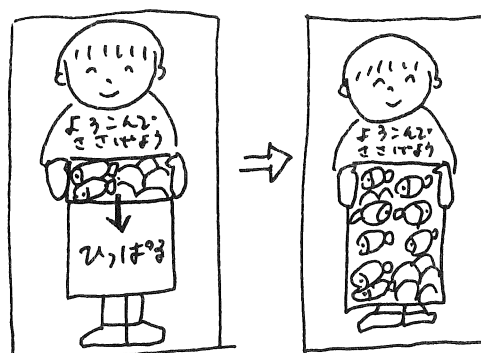
裏を  貼り付ける。





④ Bを閉じたり開いたりしながら。

喜んでさげる時に、神様がささげものを豊かに祝福してくださることを覚えましょう。

—完成図—



 切り取り線

 谷折り線

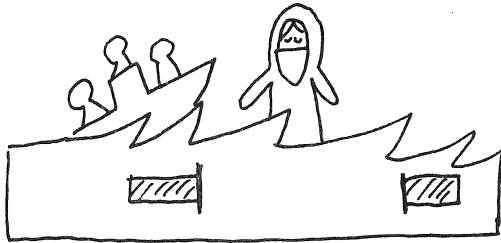
 山折り線

しっかりするのだ。わたしである。
おそれることはない。

① A・Bに色をぬり切り取る。

② Bに切り込みを入れ。

Aの帯部分の端を図のように
裏から表に差し入れる。



A

B

③ 帯を左右に引き張り。
紐不揃いを重加す。

—完成図—



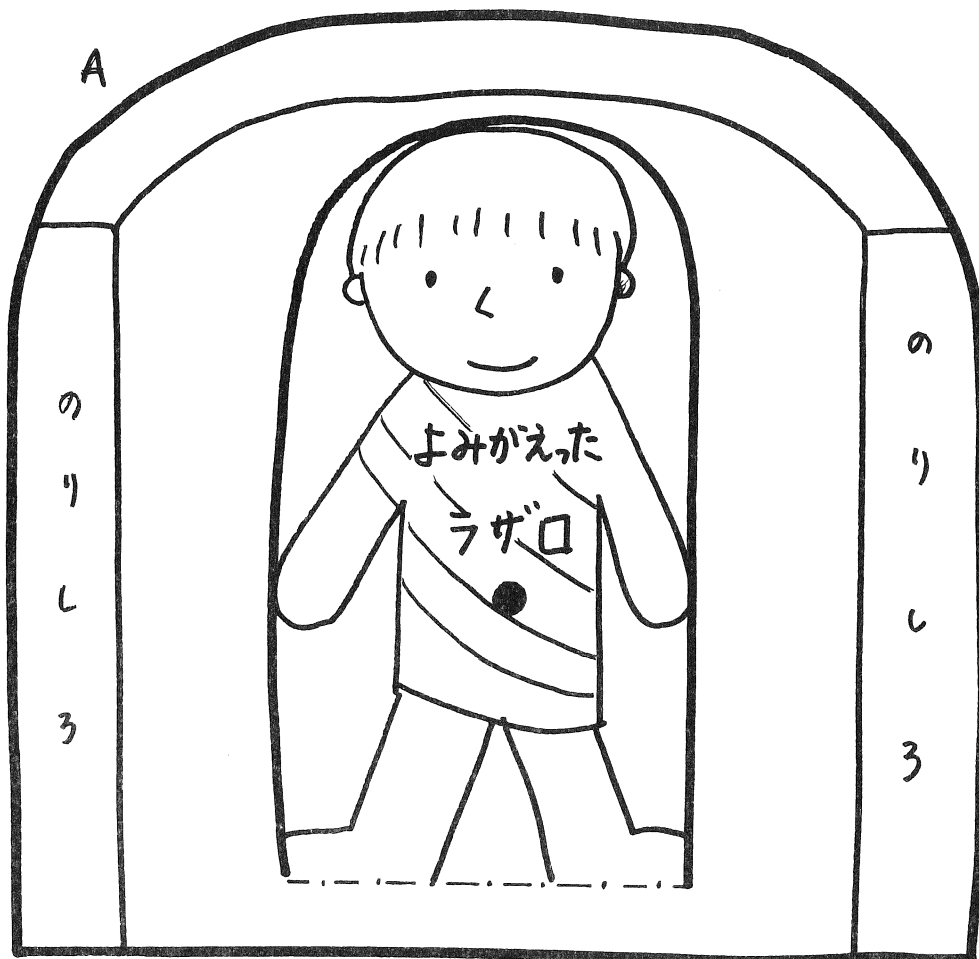
しっかりするのだ
おそれることはない

しっかりするのだ、わたしである。

おそれることはない。マタイ14・27

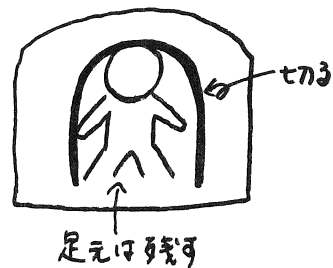
—— 切り取り線

- - - 谷折り線



① A・B・C に色をぬり
切り取る。

② Aのラザロの部分を
切る。(足元は残す)



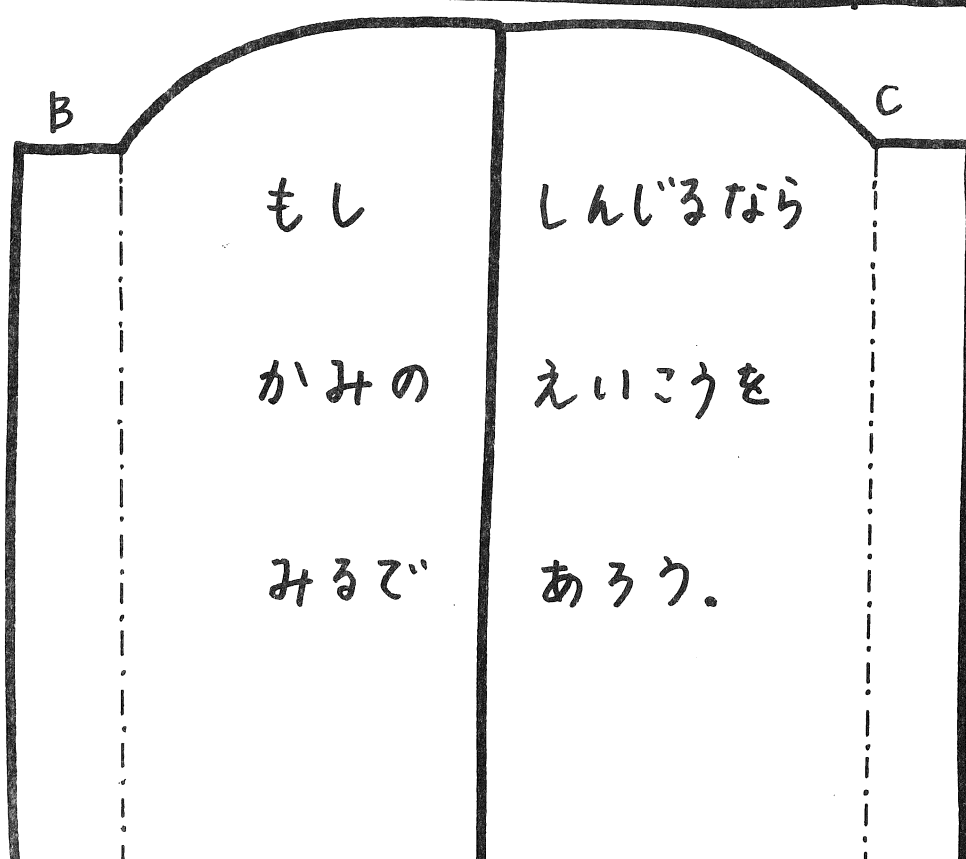
③ Aののりしろ部にのりを
つけ。B・C を貼り付ける。

④ B・Cの谷折り線を
折って、とびらを開く。

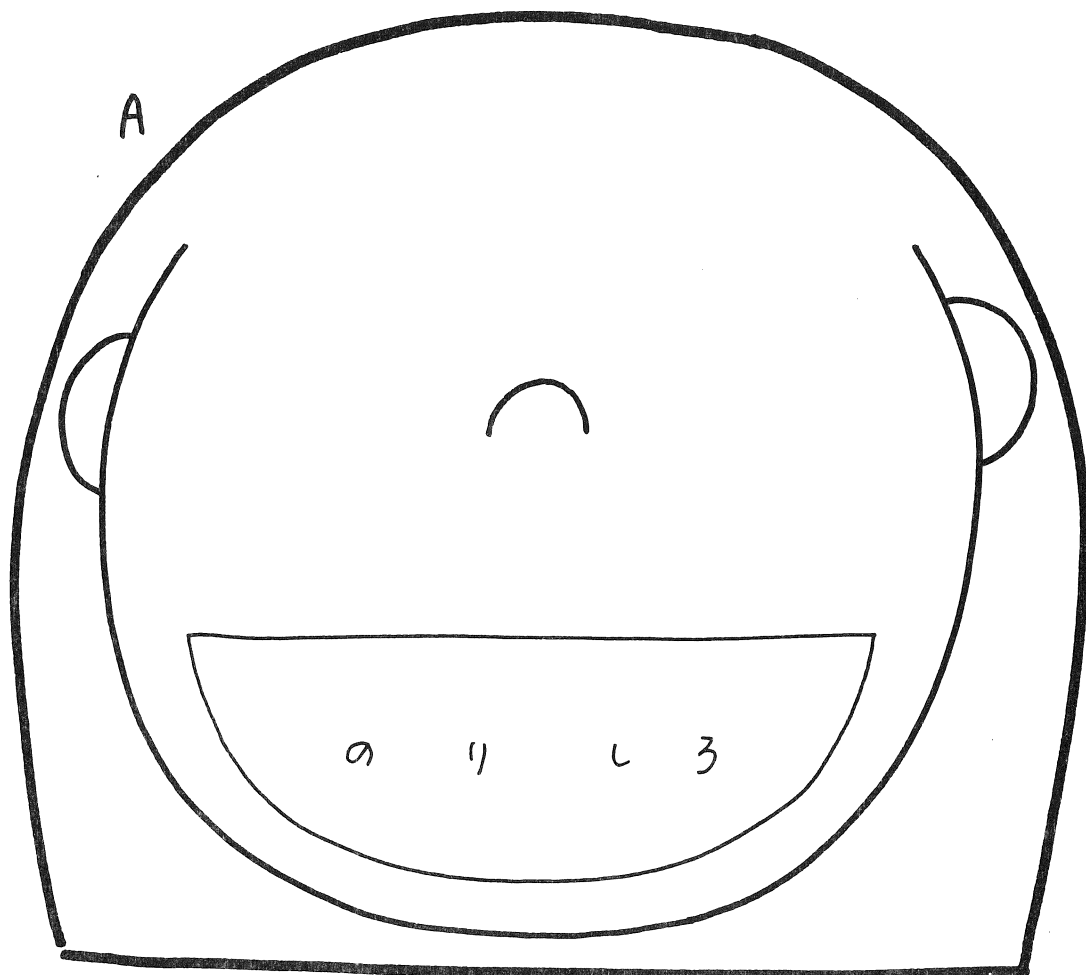
⑤ ラザロの足元を谷折りし、
ラザロのおなかの○部に短い
ひもをつけて引き張り、
ラザロを立ち上がらせる。

* とびらを開いて、死んだ
ラザロに命が与えられ、
生きかえったことを覚えよう。

— 完成図 —

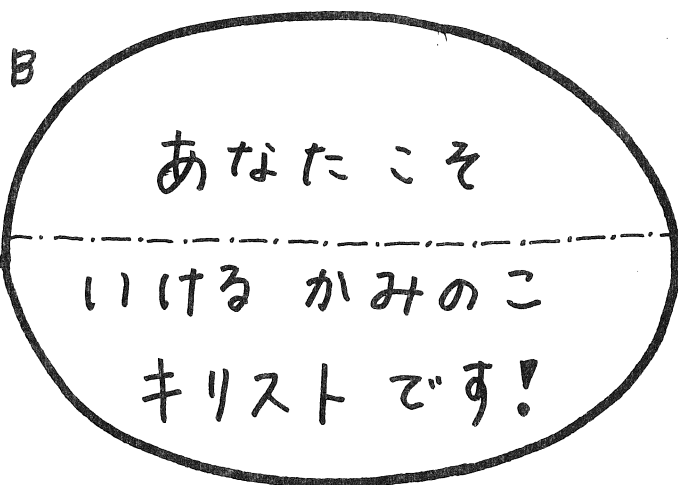


しっかりするのだ、わたしである。
おそれることはない。マタイ14・27



—— 切り取り線

- - - 谷折り線



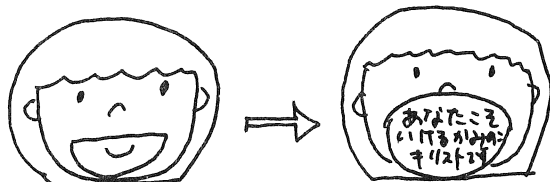
- ① Aに目・髪^かの毛を描き、色をぬって切り取る。
- ② Bに色をぬり、切り取り。谷折り線を折って、Aののりしろ部には貼り付ける。

- ③ Bを折ったまゝ、口^{くち}を描く。



- ④ 口を開いて、「あなたこそ いけるかみのこ キリストです!」と告白しよう。

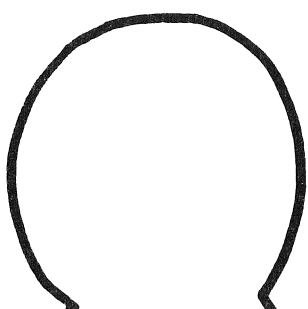
— 完成図 —



しゅがおいりょうなのです。
マタイ21・3

A

の り し 3



イエスをしんじていきます

- ① Aの顔部分に
自分の顔をかく。

かなしいこと

B

くるしいこと

のりしろ

つらいこと

- ② A・Bに色をぬり
てかり取る。

- ③ Aの 部に
てかり込みを入れる。

- ④ Aの谷折り線を
折り、図のように
組み立てる。



(※ のりしろ部の
外方にのりをついて
・印と・印を
合わせてください。)

- ⑤ Aの背中部分に
Bをはり付ける。

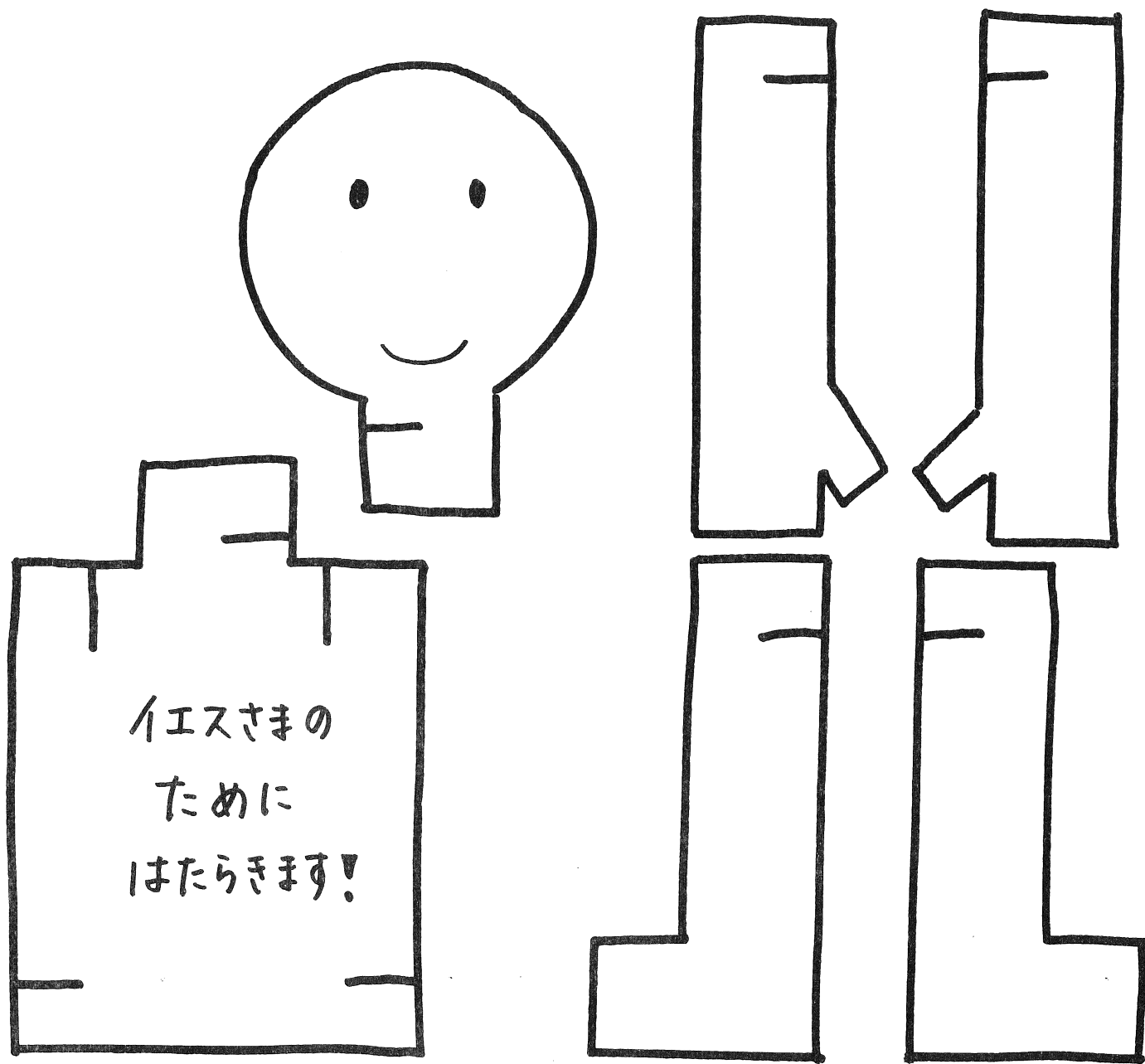
——— てかり取り線
- - - - - 谷折り線

のりしろ

— 完成図 —



しゅがおいりょうなのです。
マタイ21・3



① 豆頭、からだ、手、足に色をぬり切り取る。

切り込みも入れる。

② 頭、手、足の切り込みを

からだの切り込みに差し込んで
合体させる。

③ 頭、手、足を動かして遊ぶ。

— 完成図 —

—— 切り取り線



しゅがおいりようなのです。

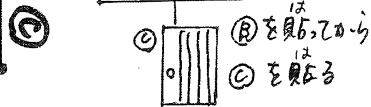
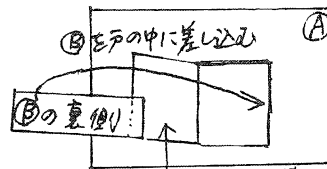
マタイ 21・3

① 色を塗る。

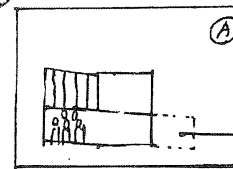
② ①、②、③を太線で切り取る。

③ ①の戸の太線に沿って切り込みを入れ、戸が開くようにする。-----は谷折りにする。

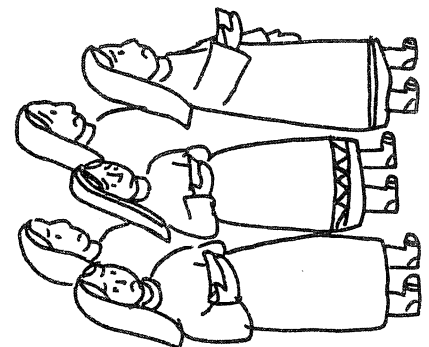
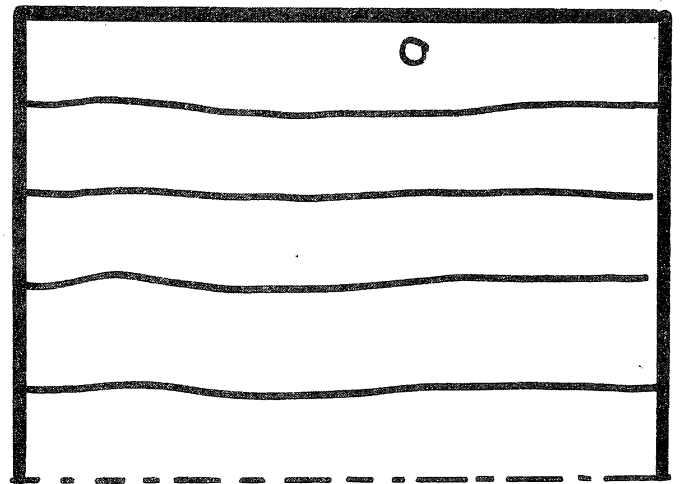
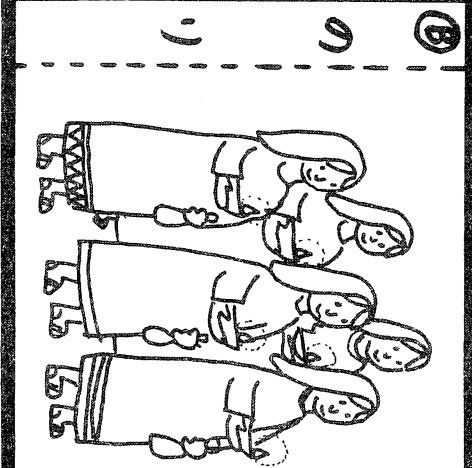
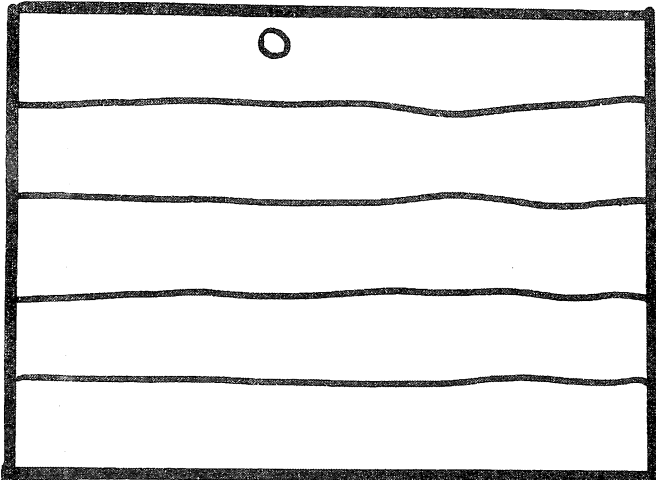
④ ①の戸に②と③を図のように貼る。



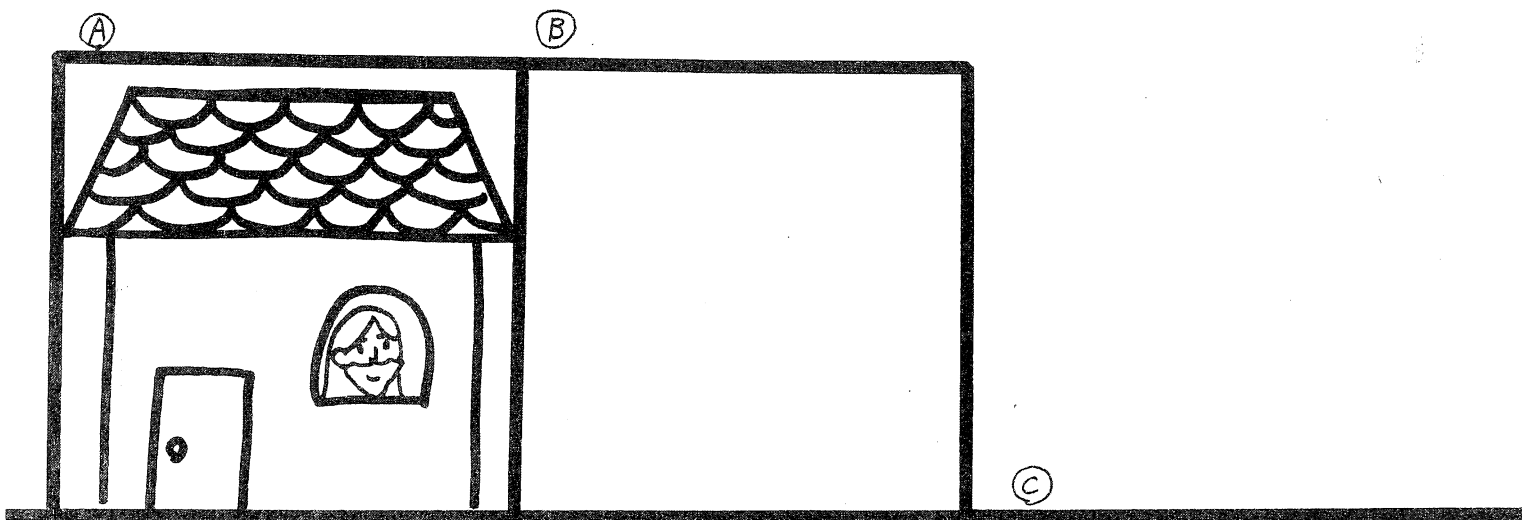
⑤



⑤ ①の裏側から②を引く。戸が開き、油の灯がきれいに見えるようになる。



- ① ②に自分が住みたい家を描く。
- ② 絵に色を塗る。
- ③ ①、②、③を太い線で切り取り、①、②を③の点線内に貼る。
- ④ ひもでつるすようにしてもよい。



わたしのちちのいえには、
すまいがたくさんある。

A 2011 3月6日 (加 49) あなたはだれとつながってる？

① 太い線で切り取る。

② ①にイラストと手をつないでいる自分を描く。色を塗る。

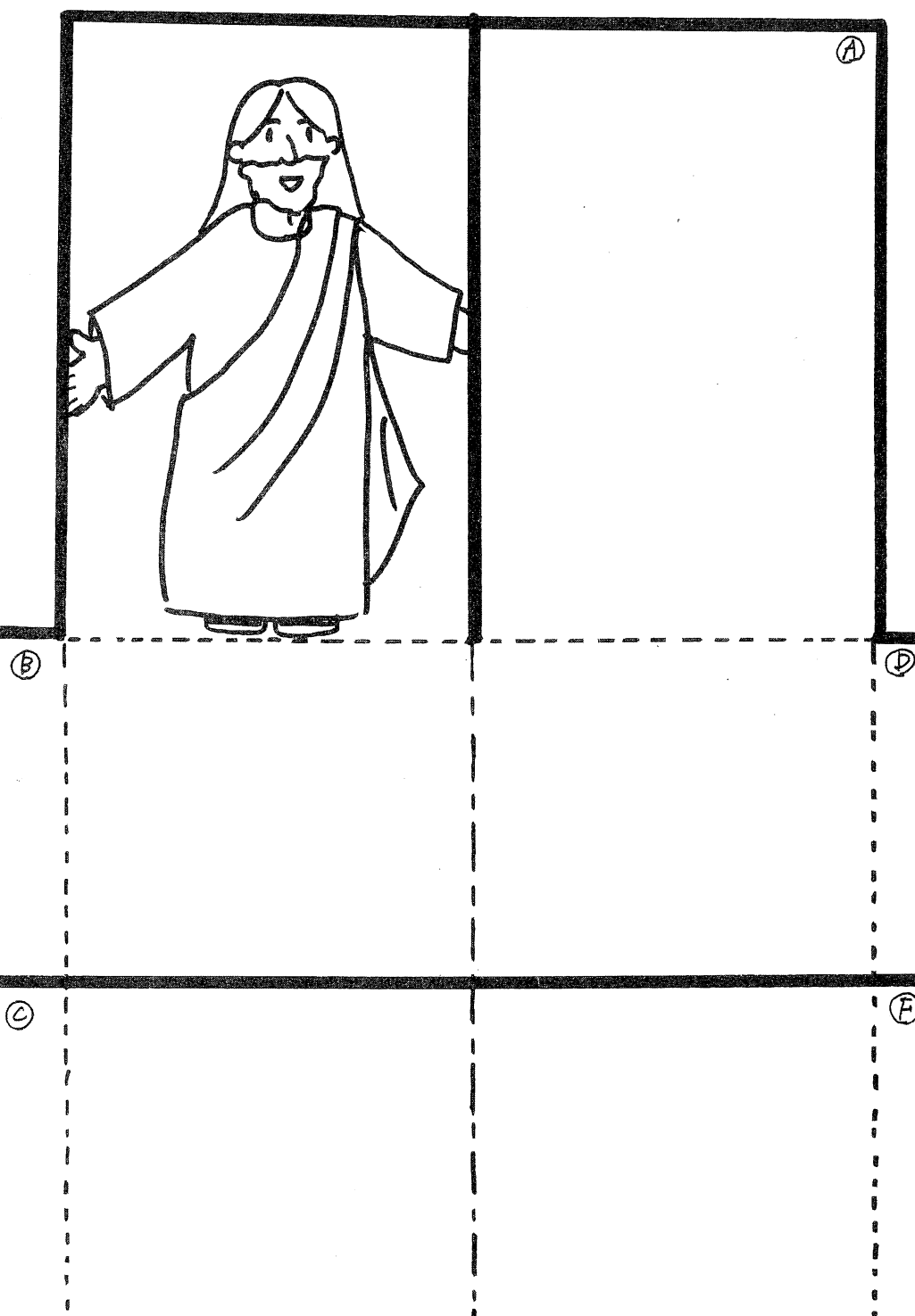
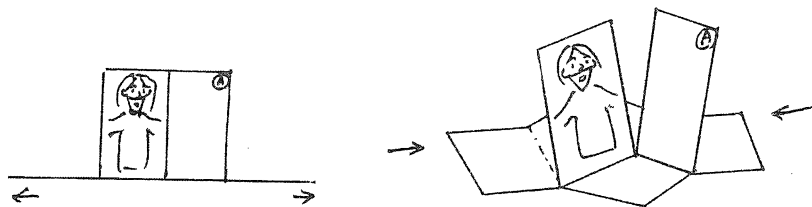
③ --- 山折り、--- 谷折りにする。

④ ③面と③面、④面と④面をのりづけする。折り目をきちんと合わせてみよう。

⑤ ④のようにしておしたり、ひいたりする。

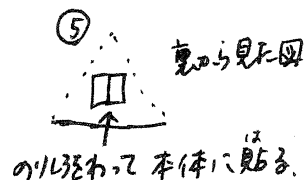
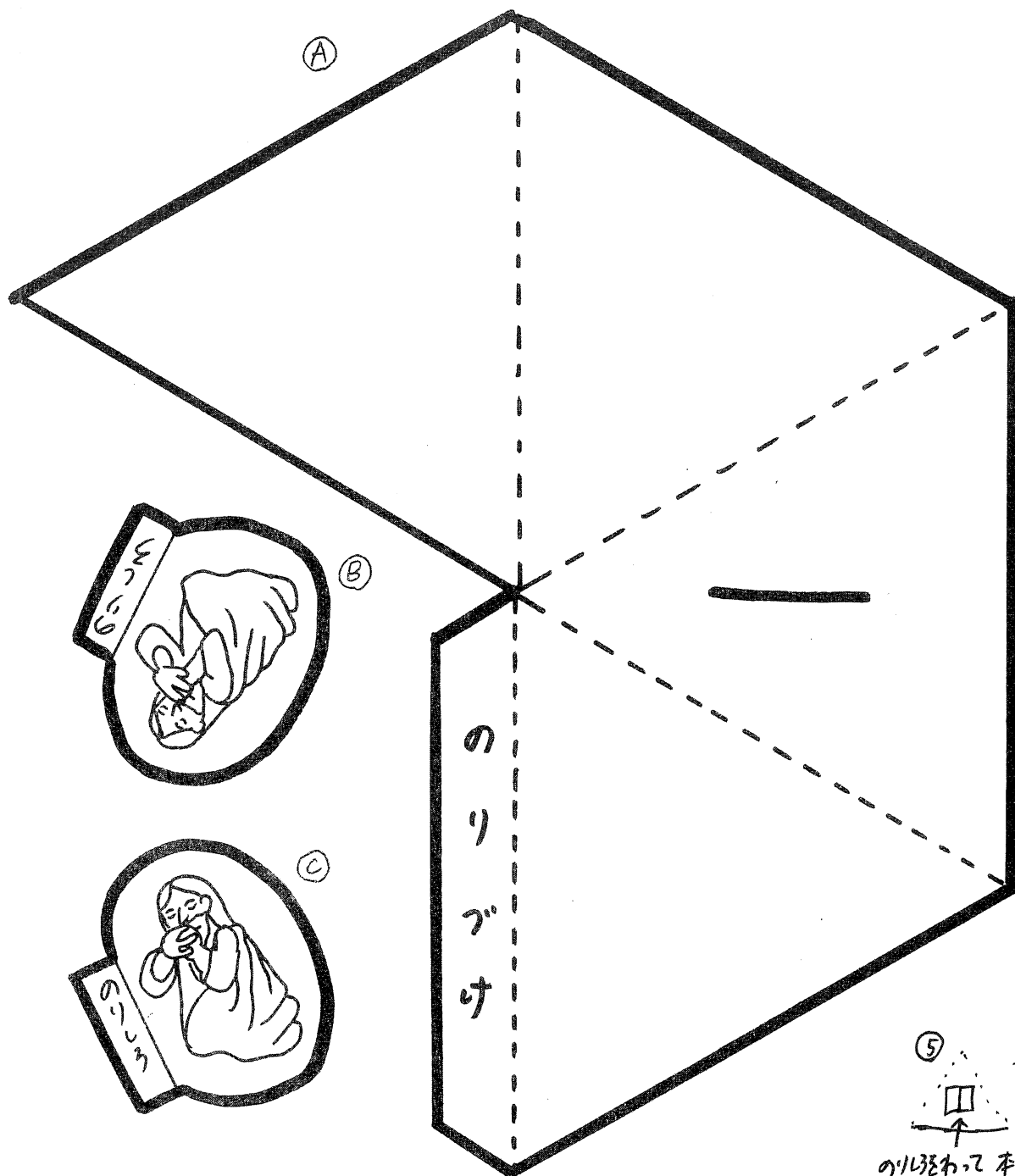
みこころのままになさってください。

マタイ26・39



みころのままになさってください。

マタイ26・39



- ① ケツピマネの新りの場面でも、④に色を塗り、絵を描く。
(みこはをきいでも良いです)
- ② ③、④に色を塗る。
- ③ ④、③、④を太線で切り取り、④本体の太線に切り込みを入れる。
- ④ ④を組み立てる。
- ⑤ ③、④をのりで絵を外に貼^はり合わせ、④の切り込みに差し入れる。

みこころのままになさってください。

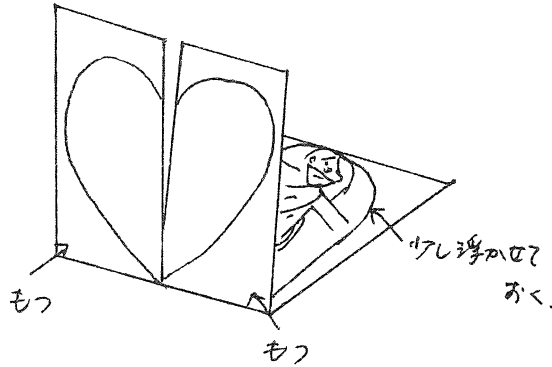
マタイ26・39

① 絵に色を塗る。

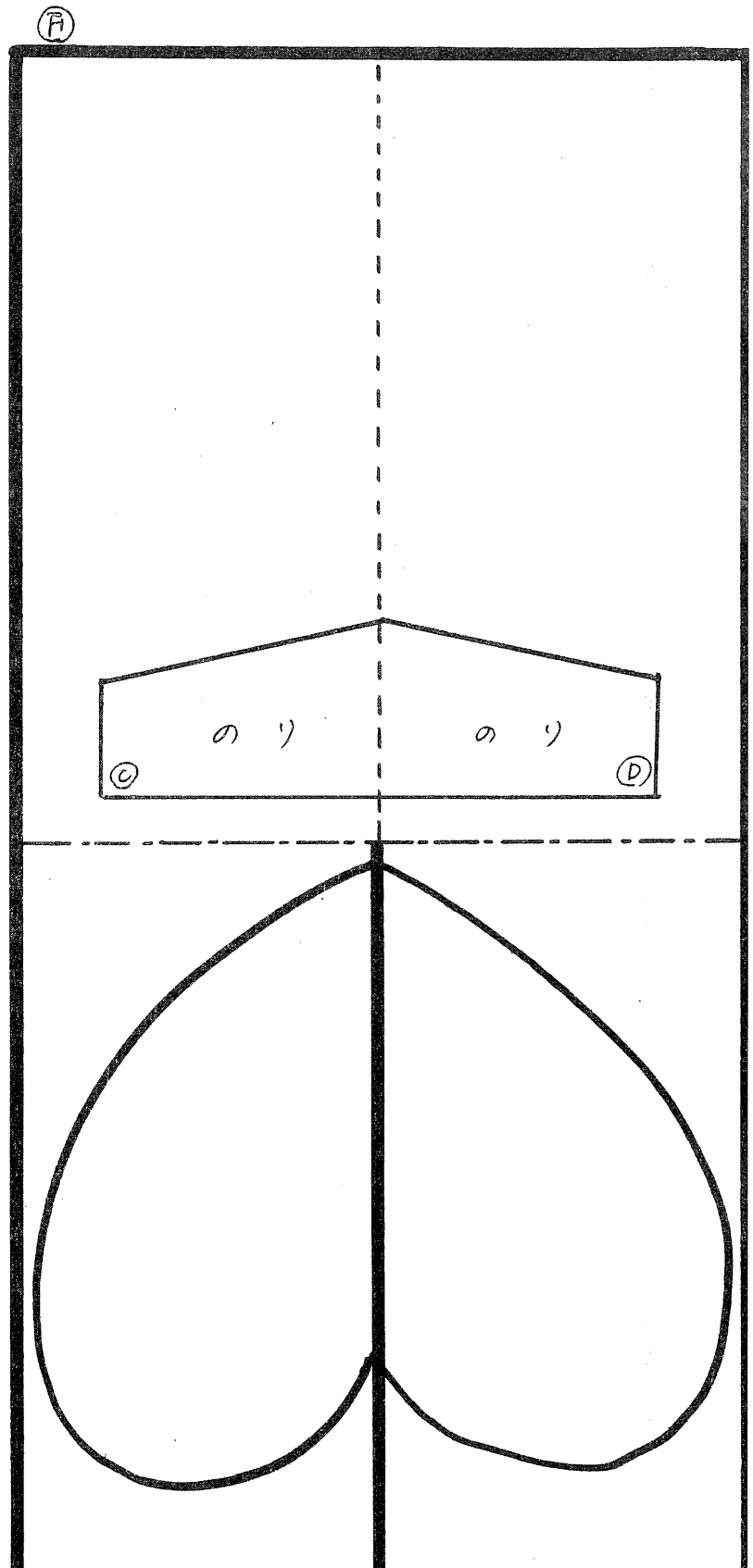
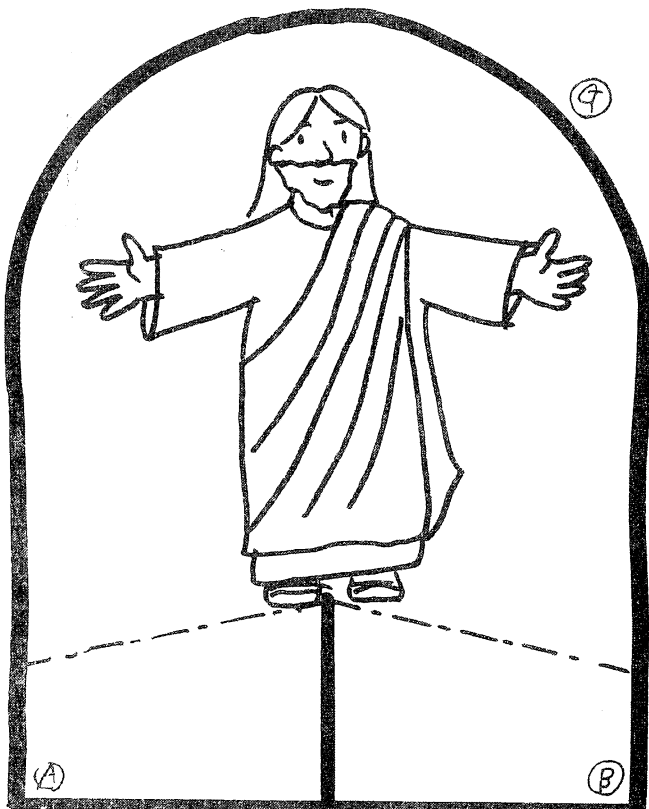
② ㊦を外枠で取り取り、ハートの裏に、ハートを書く。

③ ㊧を取り取り、㊦のハートの真ん中の太線に印字込みを入れる。

④ ㊠と㊡、㊢と㊣をのりづけする。-----は谷折リ、---は山折リにする。



⑤ 下のはしを持ち、ハートをわるようにひらく。心の中にイエス様がおられまう。



みこころのままになさってください。

マタイ26・39

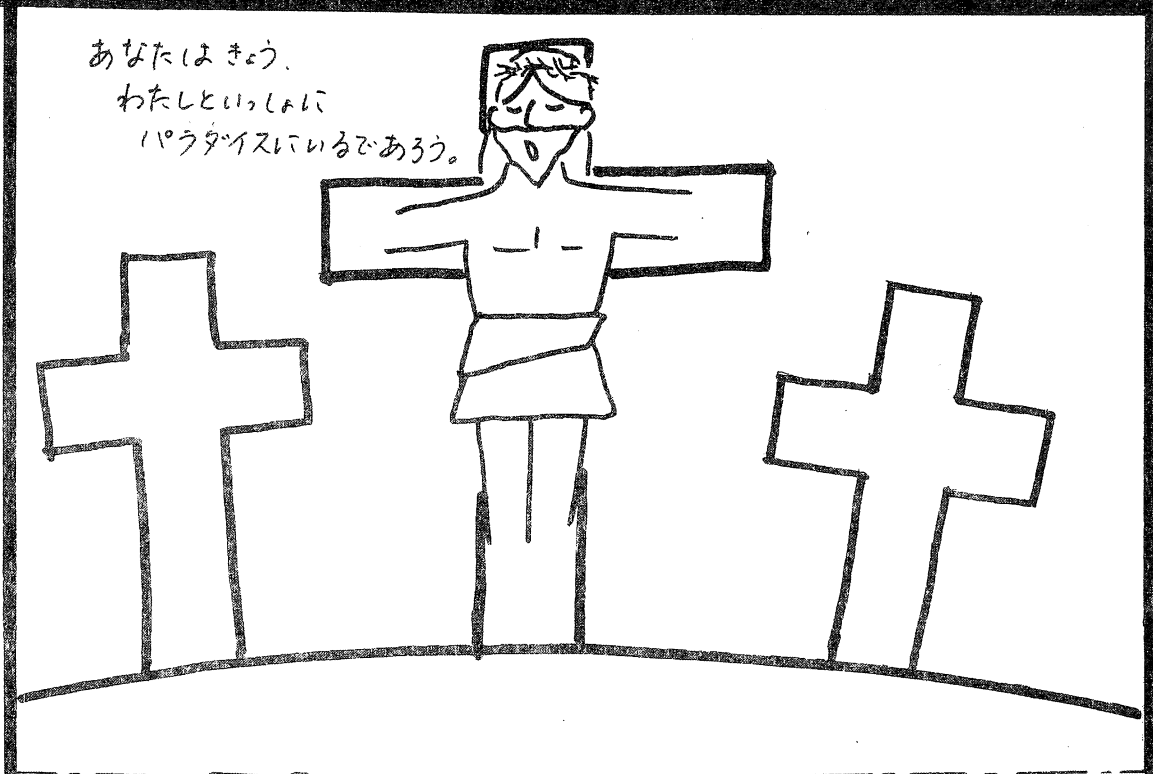
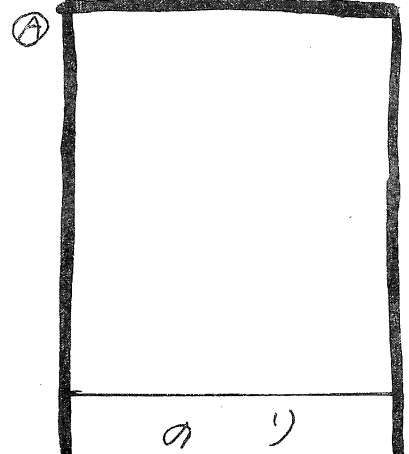
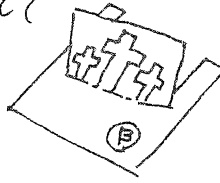
① 下の太い線をはさみで切る。

② ④のように-----を谷折りにして
をてる。

絵に色を塗ってもよいです。

③ 右の①太線で切り取る。

空白に自分の絵を描き、③の部分にのりづけする。



1/30

●話し方のヒント

カリキュラム番号44

イエス様がいろんな所で神様のことを話され、病気の人を治したり奇跡を行われるようになると、人々はイエス様のことを「あの人はバプテスマのヨハネだ」、「神様のことを伝える預言者だ」と、言いました。すばらしい「人」だと認めましたが、「神様」だとは思いませんでした。ある日イエス様は弟子たちに、「あなたがたはわたしを誰だと思いませんか？」と尋ねられました。いつもイエス様のそばにいてイエス様の姿を見てきたペテロは、「あなたこそ、生ける神の子キリストです」、「イエス様こそ、私たちを苦しみから助け出してくださる神様です」と、答えました。イエス様は私たちの神様、救い主です。私たちもペテロのようにイエス様を正しく知り、信じ、告白しましょう。

●ワークについて

私たちもイエス様のことを、「生きておられる神の子、救い主です」と、告白しましょう。

2/6

●話し方のヒント

カリキュラム番号45

イエス様が「わたしはエルサレムで苦しめられ、十字架につけられ、死んでよみがえります」と話されるのを聞いて、弟子のペテロは「そんなことがあってはいけません」と、イエス様に注意しました。ペテロはイエス様を大切に思っていたのですが、イエス様はペテロに、「わたしの邪魔をするな。神様のご計画を進めて行かなければならないのだ」と言って叱られました。神様を心から愛するイエス様にとって、神様の計画に従って十字架にかかって死ぬことは、一番大切なことだったのです。私たちも神様のご計画の中で、苦しみ（十字架）が与えられることがありますが、イエス様もそうされたように、イエス様に助けていただきながら、十字架を負っていきましょう。

●ワークについて

苦しみや悲しみが与えられても、イエス様を信じて従って行きましょう。

2/13

●話し方のヒント

カリキュラム番号46

イエス様がエルサレムの町に入って行かれる日になりました。神の子であるすばらしいイエス様なのに、「主がお入用なのです」と言って、格好の良い馬ではなく、ろばを選んで乗って行かれました。ろばは格好が悪くても、イエス様をしっかりと運ぶことができ、人々に安心な気持ちを与えることができるからでした。連れて来られたろばは、立派にイエス様のために働きました。私たちもイエス様の大切な仕事のために選ばれた一人ひとりです。小さい私たちも、自分にできることを一生懸命して、イエス様のために働きましょう。

●ワークについて

私たちの手や足やからだを、イエス様のお仕事のために用いていただきましょう。

2/20

●話し方のヒント

カリキュラム番号47

イエス様に弟子たちが「世の終わりにはどのようなことが起こりますか」質問したとき、イエス様はたくさんのお話になりました。その話の中に、花婿を迎える10人の娘の話がありました。10人のうち5人の娘はランプの予備の油を用意していました。しかし、他の5人は油を用意していなかったために、花婿を迎えることができないばかりか、お祝いの会場にさえ入ることができませんでした。この話の花婿はイエス様、10人の娘は私たちです。イエス様がいつ来られても良いように、いつも心の中でイエス様のことを考え、祈り、待ち望みましょう。

●ワークについて

今日のお話を思い出し、会場に入ることのできなかった娘の気持ちを考えましょう。

2/27

●話し方のヒント

カリキュラム番号48

イエス様は十字架を前にして弟子たちを励まします。神様を信じ、イエス様を信じるなら、不安や恐れに勝つ力が与えられるのです。そしてイエス様は、みんなが安心して永遠に暮らすことのできる天国の家、つまり、イエス様とずっと一緒に過ごすことのできる家を用意しに、天国へ帰ると言われました。では、この家に入るにはどうしたら良いのでしょうか。それは、イエス様の十字架は私の罪のためであったと信じることです。あなたはイエス様を信じますか。

●ワークについて

天国に自分の家が用意されていることを覚えましょう。

3/6

●話し方のヒント

カリキュラム番号49

イエス様はお話されるとき、よくたとえ話を使いました。それは聞く人々がよくわかるようにとのイエス様の工夫でした。この時、話されたぶどうは、パレスチナ地方で多く栽培されていたそうです。もしかしたら、ぶどうの実を見ながら、イエス様はお話をされたかもしれませんね。ここで、イエス様が知ってほしいと願っていることは何でしょう。それは、枝である私たちが、木の幹であるイエス様につながっていることです。すると、イエス様からたくさんの栄養をいただいて豊かな実を結ぶことができるのです。たくさんの良い実を結ぶことができるよう、いつもイエス様とつながっていきましょう。

●ワークについて

イエス様とつながることの大切さを覚えましょう。

3/13

●話し方のヒント

カリキュラム番号50

イエス様は弟子たちとの最後の食事が終わってから、ペテロ、ヤコブ、ヨハネを連れてゲツセマネと言う所に行きました。すると、イエス様が悲しそうに言われました「私は悲しくて死にそうです」と。3人はビックリしました。イエス様は3人から少し離れた所で、地面にひれ伏して「天のお父様、できるなら十字架にかからなくてもよいようにしてください。しかし、御心のままになさってください」と祈りました。十字架はつらくて苦しい罰ですが、イエス様は神様の思いどおりにしてくださいと祈られたのです。それは、私たちを罪から救うためでした。私たちのために十字架にかかることを、神様に祈ることで決心したのです。私たちもイエス様をお手本にして、大切なことを決める時は、必ず神様に祈る者とならせていただきます。

●ワークについて

ゲツセマネの祈りの場面を作成し、私のために祈ってくださるイエス様を覚えましょう。

3/20

●話し方のヒント

カリキュラム番号51

イエス様は十字架にかけられ、苦しみの中にあっても、父なる神様に「父よ、彼らをおゆるしてください。彼らは何をしているのか、わからずにいるのです」と、イエス様を十字架につけた人たちのために祈られました。それなのに、イエス様の十字架を見ていた人たちは、「本当に救い主なら十字架からおりてみる」と言って、イエス様をからかいました。あなたがもしイエス様の十字架を見ていたとしたら、イエス様をからかいますか？イエス様は私たちの罪のために十字架にかかってくださいました。心を開いて、素直にイエス様を救い主と信じ、心に迎えましょう。

●ワークについて

心は見えませんが、イエス様が心にいてくださることを絵で見て覚えましょう。

3/27

●話し方のヒント

カリキュラム番号52

イエス様は2人の犯罪人と一緒に十字架にかけられました。イエス様が真ん中で、犯罪人はイエス様の右側と左側につけられました。ひとりはいエス様に対して「おい、おまえはキリストではないのか。それなら、今すぐに自分を救い、おれたちを助けてみろ」と言いました。反対側の犯罪人は「この方は何も悪いことはなさらなかったのだ。イエス様、あなたが天国にいらっしゃる時には、どうか私のことを思い出してください」と言いました。あなたは、この2人のうちどちらの言葉が正しいと思いますか？「思い出してください」と言った犯罪人に対して、イエス様は「あなたは、きょう、わたしと一緒にパラダイスにいるであろう」と言われ、天国に行く約束をしてくださいました。イエス様は私たちの救い主です。イエス様を信じ、天国へ行く約束をいただきます。

●ワークについて

イエス様が十字架に書かれた場面を見て、イエス様を信じたら、私も天国へ行けることを覚えましょう。